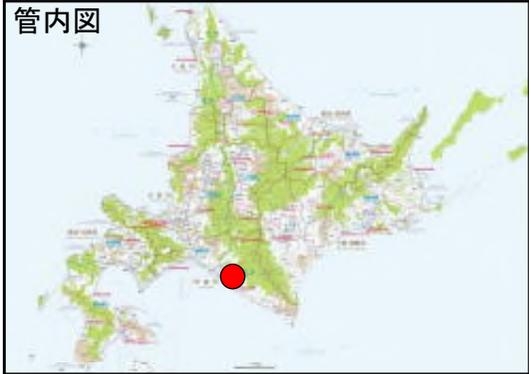
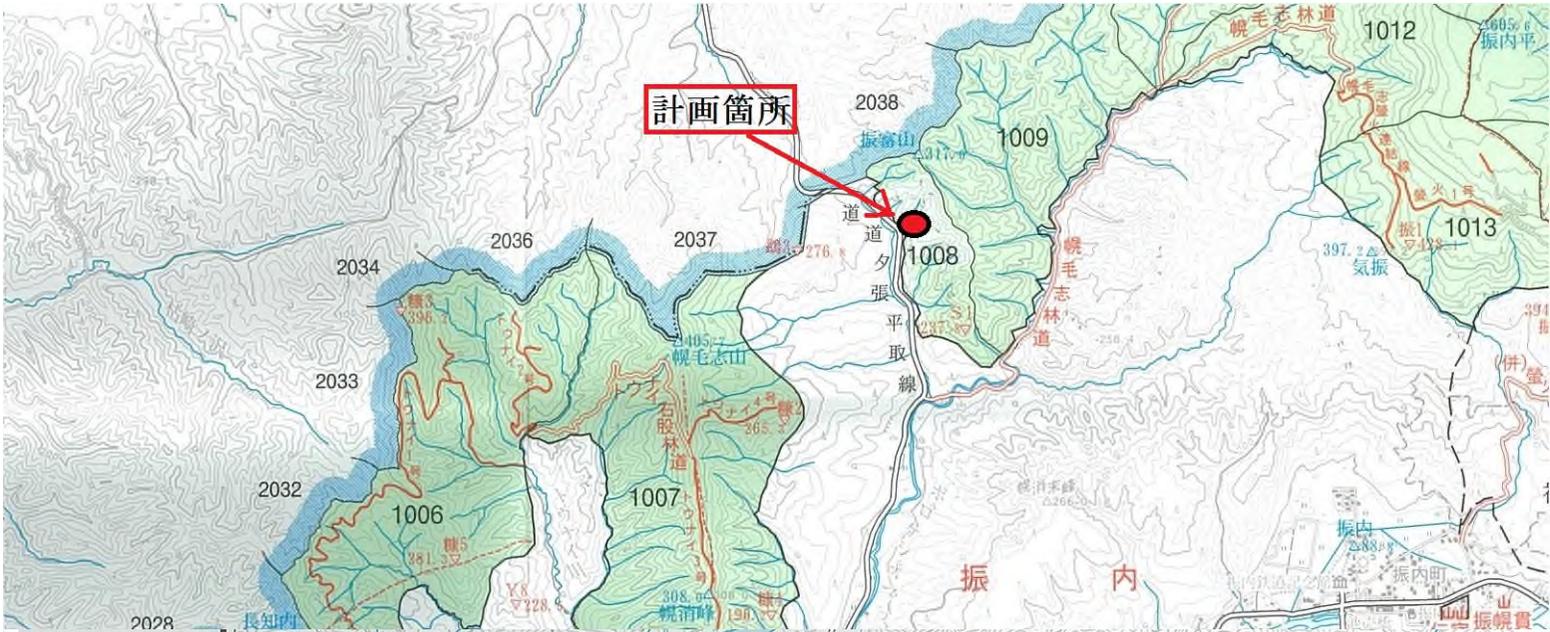


地区概要表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成30年度～平成32年度（3年間）	事業実施地区名 （都道府県名）	幌毛志1008林班 （ほろけし1008りんぱん） （北海道）
事業目的	<p>当該箇所は、平取町幌毛志に位置し、平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震により被災した箇所である。当該地震の影響により、付近一帯の山地及び道道に亀裂が入るなどの被害を与えたが、道道は現在復旧され、通行止めは解除となったが、平成30年10月1日の降雨の影響により山腹が滑落し、崩壊箇所が拡大した。</p> <p>当計画は、道道の上部に位置する山腹斜面の不安定土砂を溪間工の施工により流出防止し、山脚を安定させるとともに、下方の道道の保全を図るため計画したものである。</p>			事業実施主体	北海道森林管理局 日高北部林管理署
主な事業内容	溪間工 2基				
主な保全対象	道道 300m				
総事業費	160,000千円				
位置図	縮尺 1:50,000				

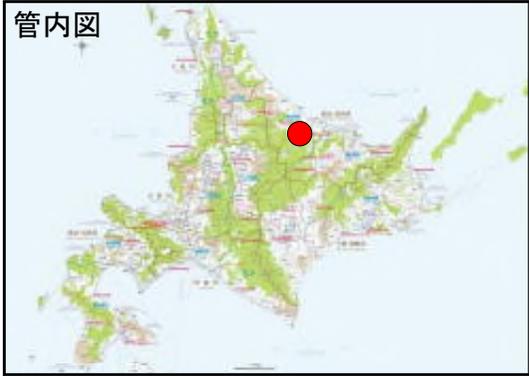
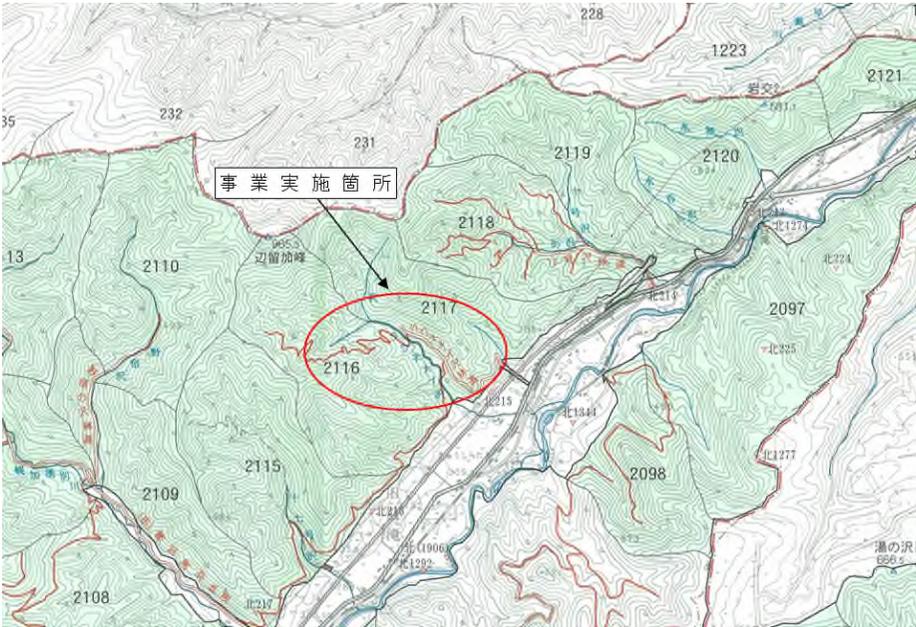
地区概要表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平30年度～平33年度（3年間）	事業実施地区名 （都道府県名）	井寒台 （いかんたい） （北海道）
事業目的	<p>当該箇所は、浦河郡浦河町北西部に位置する丘陵地域末端斜面であり、直下では事業所等が所在し、国道235号が並走している。</p> <p>急傾斜地である当該箇所では海岸からの潮風や強風により岩盤の風化が進行しやすく、浮石類も多数存在する地域であり、落石災害の危険性が高いことから、これまでに対策工を実施してきたところである。当該箇所には依然として浮き石や亀裂の発達した岩盤等が確認されており、今後の降雨により土砂・浮石類が流出した場合、直下の事業所・国道に甚大な被害を与えるおそれがある。</p> <p>このため、山腹工を施工して山腹斜面の安定・落石防止対策を図り、直下の事業所等の保全を図るべく計画したものである。</p>			事業実施主体	北海道森林管理局 日高南部森林管理署
主な事業内容	山腹工 0.35ha				
主な保全対象	事業所等2戸、国道70m				
総事業費	53,000千円				
位置図	縮尺 1 : 50,000				
					

地区概要表

事業名	復旧治山(国有林)	事業計画期間	平成30年度～平成31年度(2年間)	事業実施地区名 (都道府県名)	ルウオマンソラブチ川 (るうおまんそらぶちかわ) (北海道)
事業目的	当該箇所は、空知郡南富良野町の東部に位置し、平成28年8月の台風10号による集中豪雨により、山腹崩壊が発生し、崩壊した土砂・流木が下流へ流出し、下流道道橋梁を塞ぐ寸前まで堆積する被害を与えた。 平成29年度に災害復旧事業として、不安定に堆積している土砂の移動抑止の為、応急的に山腹工を実施したが自然緑化には時間を要するため、今後の降雨等により、崩壊面、侵食深が拡大し、更に土砂が流出するおそれがあることから、当該事業により山腹斜面の安定化を図るために計画したものである。			事業実施主体	北海道森林管理局 上川南部森林管理署
主な事業内容	山腹工 1.03ha			管内図 	
主な保全対象	道道 300m				
総事業費	67,000千円				
位置図	縮尺 1:50,000				

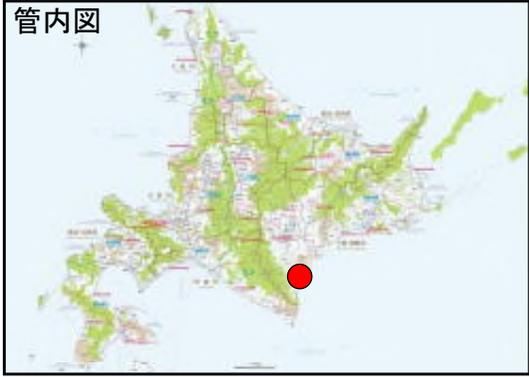
地区概要表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成30年度～平成31年度（2年間）	事業実施地区名 （都道府県名）	ラウネナイ地区 （らうねない） （北海道）
事業目的	<p>当該箇所は、平成30年7月の豪雨により、北海道紋別郡遠軽町旧白滝に位置する2溪流沿いにおいて山腹崩壊が発生し併せて溪岸崩壊を誘発しながら河床内の不安定土砂と共に下流にある畑・農業用排水施設に大量の土砂が流出し被害を与えた。</p> <p>現在も、河床内には大量の不安定土砂が堆積しており、今後の降雨等により再び下流域に被害を与えるおそれがある。</p> <p>このため、当該事業により不安定土砂の移動を抑止し、水土保持機能の向上と土砂災害防止に資するべく計画したものである。</p>			事業実施主体	北海道森林管理局 網走西部林管理署
主な事業内容	溪間工 3基				
主な保全対象	国道 300m、農地 9.61ha				
総事業費	80,000千円				
位置図	縮尺 1 : 50,000				

地区概要表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成30年度～平成33年度（4年間）	事業実施地区名 （都道府県名）	柏木沢 （かわぎざわ） （北海道）
事業目的	<p>当該箇所は、本別町南東部に位置し住宅地が隣接している国有林である。平成28年8月（126mm/日）の台風による山腹崩壊により、多量の土砂と流木が堆積している。</p> <p>山腹面には依然として倒木を含む不安定土砂が堆積している状況であり、今後の豪雨により崩壊が拡大し上部には高速道路及び農地、下流には人家及び道路へ被害を及ぼすおそれがある。このため当該事業により崩壊地の拡大及び土砂流出を抑止し、民地及び道路等の保全を図るため計画したものである。</p>			事業実施主体	北海道森林管理局 十勝東部林管理署
主な事業内容	溪間工 3基、山腹工 0.50ha			管内図 	
主な保全対象	人家 41戸、国道 220m、町道 1467m				
総事業費	190,000千円				
位置図	縮尺 1 : 50,000				
					

地区概要表

事業名	復旧治山(国有林)	事業計画期間	平成30年度～平成35年度(6年間)	事業実施地区名 (都道府県名)	岩見の沢 (いわみのさわ) (北海道)
事業目的	<p>当該箇所は、広尾町市街地から北西約30kmの十勝西部森林管理署1016林班に位置し、平成30年3月8日～9日には前線を伴った低気圧の影響で、暖かく湿った空気が流れ込み、3月としての日降水量が史上2位となる127.5mm(3月8日15時～9日24時の合計で157.5mm:広尾観測所による)の大雨が記録されたことに加え、気温が上昇したことにより融雪が進みスラッシュ雪崩(雪泥流)が発生した。崩落中の斜面の土砂や立木を巻き込みながら下流へ大量に押し寄せ、国道およびボックスカルバートを埋積しながら乗越えたうえ、豊似川まで到達するなど甚大な被害を与えた。</p> <p>溪流には多量の土砂礫や流木が不安定な状態で堆積していることに加え、既設コンクリートダムの機能低下が懸念されることから、気候変動に伴う集中豪雨や融雪などに起因し、再度、流木を巻き込みながら土石流が発生し、国道や豊似川などに被害を与える危険性が極めて高い。この国道は道央と道東を連絡する交通の大動脈となっている。このため、適切な施設計画および設計を行い地域の恒久的な安全確保を図るため計画したものである。</p>			事業実施主体	北海道森林管理局 十勝西部林管理署
主な事業内容	溪間工 3基、流木捕捉工 1基			管内図 	
主な保全対象	国道 50m				
総事業費	96,000千円				
位置図	縮尺 1 : 50,000				